

ぼく、わたしのショートショート 2025 最優秀賞 受賞者インタビュー

今年で4回目となる「ぼく、わたしのショートショート」受賞作品が決まりました！
今回はタピ岡さんの『鉛の先に』が最優秀賞に選ばれました！
実はなんと、第2回・第3回でも最優秀賞を受賞同じ作者の方で、3度目の受賞となります！
(ペンネームは第2回が 虹星あささん 第3回が りともす紙さん でした。)



・3年連続の受賞おめでとうございます！今のお気持ちを教えてください♪

インタビューー しおり

『すごくうれしいです。ふだん他の方に読んでもらう機会があまりないので、評価してもらえるのがうれしいです。』



タピ岡さん

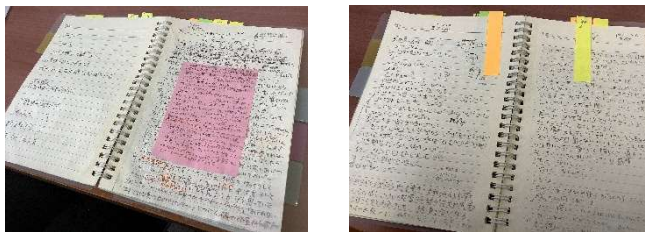


・作品をつくるのに、こだわった点・苦労したところはどんなところですか？

今回は景色・背景を描写したいと思い、寒々しい景色がリアルに伝わる表現にこだわりました。また、(作品中のアイテムで)鐘を使いたかったので調べると、鐘を作るには1年もかかることがわかったので鈴にしました。
銃弾についても時間をかけて深く調べていたので、調べに使った学校の図書館のスタッフの方に心配されました(笑)
中学生のころから原案などを作品ノートに詳細につけています。」



タピ岡さん



「原案や、調べた内容を記している作品ノート



・作品はいつぐらいから書き始めたのですか。

「いつも、とりかかるまで時間がかかるのですが、執筆し始めてから1週間ぐらいでかたちにしていきました。頭の中であんなに
おもしろいなあと思っていることが、かたちになってから
書くようにしています。作品はスマホに入力して作るスタイルです。
いつも提出が×切り間近になってすいません。」



タピ岡さん



STAFF

「いえいえ、いつもハイレベルな作品をありがとうございます。」(スタッフ一同)



・物語のアイデアは、どんな時に思い浮かぶことが多いですか？

「水に関係するところ(お風呂、お皿洗い)などの時にアイデアが浮かぶことが多いです。」



タビ岡さん



・前回のテーマに比べて、戦争など社会問題などが取り上げられていますが、物語を作るときに影響を与えたものなどありますか？

「戦後 80 年ということもあり、また人とのつながりを表現したいと思い、このようなテーマを選びました。テーマが重すぎて深く落ち込みそうになりましたが、なんとか形にできてよかったです。

余談ですが、2023 年度の受賞作品『わたしの花—花音—』に出てくる月下美人は祖父が栽培していたので作品に登場させました」



タビ岡さん



・物語に出てくる人物に、このような人というイメージはもって書かれているのですか。

「明確にイメージをもって書いています。前回、前々回 入賞時に文庫化された作品の表紙・挿絵が自分のイメージとぴったり合っていて、とてもうれしかったです。特に 2024 年度受賞作の『ベランダで君と』のヒロイン鼓白の髪型はショートカットをイメージしていたのですが、本文に具体的な描写がないのに、自分のイメージ通りになっていて、とてもうれしかったです。こだわって描いてくれているのが伝わってきました。今回の作品では登場人物の名前を日本名にしないようにラテン語やハワイ語、ギリシャ語を調べてつけました。カイ→ハワイ語で、うみ ソル→ラテン語で太陽など」



タビ岡さん



・尊敬する作家さんはいますか？

「廣島玲子さんです。比喩表現が素晴らしいです。」



タビ岡さん



・他にもこういった公募に応募は普段からしていますか？

「中学校 文芸部の時に応募ただけで、その後はこのショートショート公募にのみ応募しています。」



タビ岡さん



・最近ハマっていることを教えてください♪

「想像すること、歩いていて景色がきれいだと形にあらわしたくなります。また 大正・昭和レトロ 袴、などにもハマっていて、和本を集めています。INI などの韓国のアイドルにもハマっています。」



タビ岡さん



・今後挑戦してみたいことなどはありますか？

『絵を描くことも好きで高石市立図書館・分館のキャラクター募集にも応募しました。小説は小学校 1 年生から書いていますが、中学校で文芸部に入ってからさらに書き続けています。今後は長篇小説にも挑戦してみたいです。ショートショート入選作のアフターストーリーや番外編を書く構想もあります。他には資格に挑戦しようと思っています。カウンセラーの資格や似顔絵検定などの資格も取りたいと思っています。』



タビ岡さん



製作にまつわることから、推しのはなしまでたくさんのおはなしを聞かせていただきありがとうございました♪中学の文芸部の顧問の先生の言葉、「人がいなくなったりする大きな出来事に頼らずに人を動かすことが大切」をモットーに製作されているということも印象深かったです。ありがとうございました。



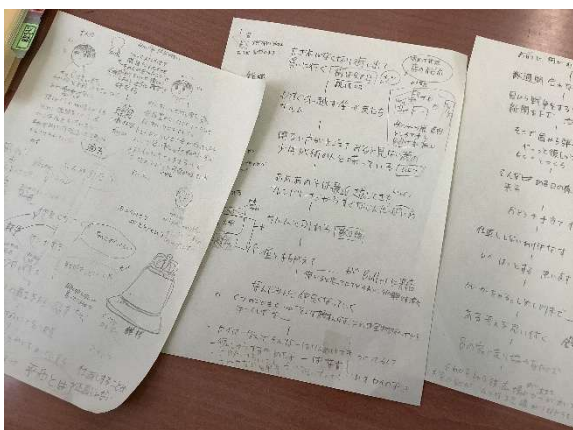
第3回 最優秀賞受賞の「ベランダできみと」の主人公、瑞月と鼓白のキャラ案
作者のイメージとぴったり合っていたそうです。



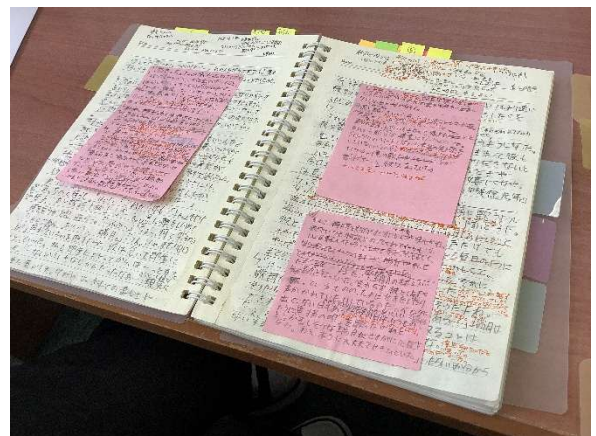
第3回 最優秀賞受賞の「ベランダできみと」の表紙(左)と挿絵(右)



第2回 最優秀賞受賞の私の音-花音-の表紙(左)と挿絵(右)



「鉛の先に」の制作に使用された、作品ノート
緻密に調べられています！貴重な資料を見せていただきありがとうございます。



作品ノートは中学生のころから書き始めて2冊目に突入しているとのこと。ここから素晴らしい作品が生まれるんですね。